

## Ⅲ 教科別講座概要

### 1 国語

#### ① 1年次

- ・必修科目として「現代の国語」と「言語文化」（ともに2単位）を、全員履修します。

#### ② 2年次

- ・「論理国語」（2単位）を、全員履修します。
- ・選択科目としては、以下のものが開講されます。

2 B 「古典探究」（4単位）私立文系進学者用

2 B 「古典探究」（2単位）国公立理系または国公立文系進学者用

2 D 「古典探究」（3単位）芸術系国公立進学者用

#### ③ 3年次

- ・「論理国語」（2単位）を2年次に引き続いて全員履修します。
- ・選択科目としては、以下のものが開講されます。

3 C 「現代文講座」（4単位）私立文系・芸術系進学者用

3 C 「古典探究」（4単位）国公立文系・芸術系進学者用

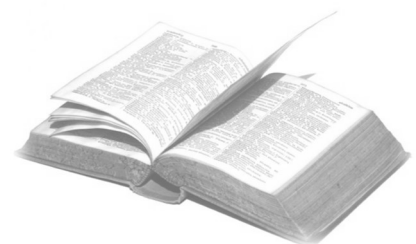
3 D 「現代文講座」（4単位）主に看護系

3 E 「古典講座」（4単位）私立文系進学者用

3 E 「古典探究」（2単位）国公立理系進学者用、「論理表現β」と併修

3 G 「国語表現」（2単位）実社会で必要な実用文の書き方を学びたい者用

3 G 「文学国語」（2単位）文学的な文章を深く学びたい者用



○志望のコース別に表にすると次のとおりです。（**太字**が選択科目です。）

	1年次	2年次	3年次
国公立文系	「現代の国語」 「言語文化」 (各2単位)	「論理国語」(2単位) <b>2B「古典探究」(2単位)</b>	「論理国語」(2単位) <b>3C「古典探究」(4単位)</b>
国公立理系	「現代の国語」 「言語文化」 (各2単位)	「論理国語」(2単位) <b>2B「古典探究」(2単位)</b>	「論理国語」(2単位) <b>3E「古典探究」(2単位)</b>
国公立芸術系	「現代の国語」 「言語文化」 (各2単位)	「論理国語」(2単位) <b>2D「古典探究」(3単位)</b>	「論理国語」(2単位) <b>3C「古典探究」(4単位)</b>
私立文系	「現代の国語」 「言語文化」 (各2単位)	「論理国語」(2単位) <b>2B「古典探究」(4単位)</b>	「論理国語」(2単位) <b>3C「現代文講座」(4単位)</b> <b>3E「古典講座」(4単位)</b> <b>3G「文学国語」(2単位)</b>
私立理系	「現代の国語」 「言語文化」 (各2単位)	「論理国語」(2単位)	「論理国語」(2単位)

## 2 地理歴史・公民

### (1) 地理歴史科の必履修科目・選択科目

	1年次	2年次	3年次
必履修科目	「歴史総合」 (2単位)	なし	「地理総合」 (2単位)
選択科目	なし	2A「日本史探究」 2A「世界史探究」 (4単位) ※	3D「日本史探究／近代史探究(日本史)」 3D「世界史探究／近代史探究(世界史)」 (4単位) ※※

※2年次の選択科目は、2A「日本史探究」または「世界史探究」で、いずれかの科目を履修できます。国公立文系および私立文系の大学進学希望者は必ず履修してください。ただし、この選択科目は3年次にも継続して履修することになります。

※※3年次の3D「日本史探究／近代史探究(日本史)」・「世界史探究／近代史探究(世界史)」は、2年次に2A「日本史探究」または「世界史探究」を履修した人のみが選択できます。

### (2) 公民科の必履修科目・選択科目

	1年次	2年次	3年次
必履修科目	なし	「公共」 (2単位)	なし
選択科目	なし	なし	3F「倫理」 (2単位) 3G「政治・経済」 (2単位)

(3) 大学入学共通テストの受験科目は、「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」「地理総合、歴史総合、公共(→2つ選択)」「公共、政治・経済」のいずれかを受験することをおすすめします。

### 3 数 学

#### 【科目履修上の注意点】

必履修科目としては1年次に全員が学ぶ「数学Ⅰ」のみですが、1年次の選択科目にある「数学A」は受験に際しては準必修というとらえ方をされており、進学を考えている人は、なるべく1年次の「数学A」を選択してください。特に国公立大学の受験に必要な数学の科目は「数学Ⅰ・A」となっている大学が多く、「数学Ⅰ」だけでよい大学は少ないのが実際です。

1年次の「数学Ⅰ」・「数学A」に続いて、2年次に「数学Ⅱ」・「数学B」を学習し、希望に応じて3年次に「数学Ⅲ」・「数学C」を学習します。

科目選択については以下のことを踏まえて、自分の進路によって決定してください。

【1年次】国公立文系と理系大学および看護医療系進学希望者で、数学を受験科目とする生徒は、必ず「数学A」を選択履修してください。

【2年次】理系大学を希望する生徒は必ず「数学Ⅱ」・「数学B」を選択してください。

国公立文系は大学によって「数学Ⅱ」だけでよい大学と、「数学Ⅱ」・「数学B」が必要な大学があります。受験科目をよく調べて選択してください。

【3年次】理系大学を希望する生徒は3年次で「数学Ⅲ」・「数学C」を志望に応じて選択してください。国立文系は、大学によって2年次の「数学Ⅱ」・「数学B」とともに「数学C」が必要な大学があります。応用科目も志望に応じて選択してください。

進路希望別、数学科の選択科目の例

○：原則履修

△：志望に応じて履修

進路希望	年次	1年次		2年次				3年次						
	選択	必	選	2A	2D	2B	2B	3B	3F	3E	3E	3E	3G	3B
科目		数学Ⅰ	数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学B	応用数学Ⅰc	数学Ⅲ	数学C	応用数学Ⅰa	応用数学Ⅰb	応用数学Ⅱ	応用数学Ⅰb	基礎数学
単位数		3	2	4	3	2	2	3	2	2	2	2	2	3
国公立文系		○	○		○	○			△	△	○	△		
国公立理系		○	○	○		○		○	○				△	
私立理系		○	○	○		○	○	○	○			○	△	
看護医療系		○	○	○		△	○			○				○

進路希望	1年次	2年次	3年次
国公立文系	必履修 数学Ⅰ（3単位） 選択Ⅰ 数学A（2単位）	選択2B 数学B（2単位） 選択2D 数学Ⅱ（3単位）	選択3E 応用数学Ⅰb（2単位） 応用数学Ⅱ（2単位） 選択3F 数学C（2単位） または 選択3E 応用数学Ⅰa（2単位） 応用数学Ⅰb（2単位）
国公立理系	必履修 数学Ⅰ（3単位） 選択Ⅰ 数学A（2単位）	選択2A 数学Ⅱ（4単位） 選択2B 数学B（2単位）	選択3B 数学Ⅲ（3単位） 選択3F 数学C（2単位） ※志望に応じて※ 選択3G 応用数学Ⅰb（2単位）
私立理系	必履修 数学Ⅰ（3単位） 選択Ⅰ 数学A（2単位）	選択2A 数学Ⅱ（4単位） 選択2B 数学B（2単位） 応用数学Ⅰc（2単位）	選択3B 数学Ⅲ（3単位） 選択3E 応用数学Ⅱ（2単位） 選択3F 数学C（2単位） ※志望に応じて※ 選択3G 応用数学Ⅰb（2単位）
看護医療系	必履修 数学Ⅰ（3単位） 選択Ⅰ 数学A（2単位）	選択2A 数学Ⅱ（4単位） 選択2B 応用数学Ⅰc（2単位） ※必要に応じて※ 選択2B 数学B（2単位）	選択3B 基礎数学（3単位） 選択3E 応用数学Ⅰa（2単位）

## 4 理 科

本校では「物理」「化学」「生物」（「地学」）の分野の講座を設定しています。

理科の選択必修科目について

1 年次		2 年次	
化学基礎(2 単位) (全員が履修)	(選択)物理基礎(2 単位)	⇒	(選択)生物基礎(2 単位)
		⇒	(選択)科学と人間生活(2 単位)
	物理基礎を選択しなかった人	⇒	(選択)科学と人間生活(2 単位)

※理科の選択必修は、「〇〇基礎」の科目を3科目履修する、または、

「〇〇基礎」の科目を1科目以上と「科学と人間生活」を履修する、のいずれかです。

進学希望者は「〇〇基礎」の科目を3科目履修できるように、1年次の選択で「物理基礎」を選択してください。

1年次に「物理基礎」を選択せず、進路希望の変更により、2年次から「〇〇基礎」3科目を履修することを希望する場合、選択2B「応用数学Ⅰc/地学基礎」を選択できます。ただし、希望者が少ない場合は開講されないことがあります。

選択科目については、自分の進路や興味・関心をもとに、よく考えて選択してください。

### 理系進学希望者

2年次に選択2C「論理・表現Ⅱ/物理」(2単位)または「論理・表現Ⅱ/生物」(2単位)と選択2D「化学」(3単位)を選択履修します。「生物」は「生物基礎」に続いて履修することになっているので、「生物基礎」と「生物」の期間履修(年間の前半に「生物基礎」を週4時間、後半に「生物」を週4時間)を行います。3年次には選択3C「物理」または「生物」(4単位)と選択3D「化学」(4単位)を選択履修します。3Cの理科の科目は、2Cの理科の科目と同一科目を継続して履修します。さらに専門性を生かすため、選択3G「応用物理」、「応用化学」、「応用生物」のうち、1つを選択履修します。

### 看護・医療系進学希望者

1年次の必修科目「化学基礎」と2年次の選択必修科目「生物基礎」が受験科目とされることが多いです。3F「応用理科」は化学基礎と生物基礎の復習と演習を行いますので、履修をおすすめします。2C・3C「物理」「生物」や2D・3D「化学」については、受験で必要な場合や理科に強い興味・関心がある場合に、選択して履修してください。

### 国公立文系希望者

「〇〇基礎」を3科目履修した上で、大学入試共通テストに対応するために選択3F「応用理科」の履修をおすすめします。

## 5 保健体育

- ・ 体育・保健（1・2年）は全員必修履修です。
- ・ 3年次選択Gの「スポーツ総合演習」は、生涯を通じてスポーツに親しむ能力の育成を目指し、さまざまな種目に取り組みます。また、スポーツの振興発展、スポーツ障害の予防、技能向上などに必要な理論、知識を学びます。

## 6 芸術

1年次に全員が「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」の科目から1科目を選択し履修します。3年次に1年次と同一の科目の「Ⅱ」を選択できます。美術の科目にはこのほか、「基礎造形」(1年)、「アート演習A」(2年)「アート演習B」(3年)、「素描」(2・3年)、「美術鑑賞」(3年)を選択でき、より専門的・系統的に実技演習を行います。

また、興味関心に応じて、工芸分野の科目である「陶造形A」(2年)、「陶造形B」(3年)、「家具デザイン」(3年)、「クラフトデザイン」(3年)も履修することができます。

	1年次	2年次	3年次
美術系進学 (専門・大学)の 選択科目の例	美術Ⅰ	選択2 A アート演習 A	選択3 D アート演習 B
			選択3 E 素描
	選択Ⅰ 基礎造形	選択2 B 素描	選択3 F 美術Ⅱ
			選択3 G 美術鑑賞

## 7 外国語／英語

英語の科目のうち、1年次「英語コミュニケーションⅠ」・「論理表現Ⅰ」、2年次「英語コミュニケーションⅡ」は、全員履修科目です。その他の科目については、志望する大学等の入試科目を調べた上で、次項の表を参考に、進路希望に応じて選択してください。

進路希望別、英語・外国語の選択科目の例

進路希望	2年次	3年次
国公立文系	選択2C 論理表現Ⅱ(4単位) または 論理表現Ⅱ(2単位)	選択3A 英語コミュニケーションⅢ(3単位) 選択3B 論理・表現α(3単位)
私立文系	選択2C 論理表現Ⅱ(4単位) 選択2D イングリッシュカンパセーション(3単位)	選択3A 英語コミュニケーションⅢ(3単位) 選択3B 論理・表現α(3単位) 選択3F 時事英語(2単位)
国公立理系	選択2C 論理表現Ⅱ(2単位)	選択3A 英語コミュニケーションⅢ(3単位) 選択3E 論理・表現β(2単位)
私立理系	選択2C 論理表現Ⅱ(2単位)	選択3A 英語コミュニケーションⅢ(3単位) 選択3E 論理・表現β(2単位)
看護系 (専門学校)	選択2C 論理表現Ⅱ(2単位)	選択3A 英語コミュニケーションⅢ(3単位) 選択3E 論理・表現β(2単位) 選択3F 時事英語(2単位)
語学系 (専門学校)	選択2B 〇〇語入門(4単位) 選択2C 論理表現Ⅱ(4単位) 選択2D イングリッシュカンパセーション(3単位)	選択3A 英語コミュニケーションⅢ(3単位) 選択3B 論理・表現α(3単位) 選択3C 異文化理解(4単位) 選択3E 〇〇語(4単位) 選択3F 時事英語(2単位) 選択3G 総合英語Ⅰ(2単位) 〇〇語入門(2単位)

※「〇〇語入門」・「〇〇語」は、希望者が少数の場合、開講されないことがあります。

※「論理・表現α」「論理・表現β」は、同時に選択受講することはできません。

また、2年時に「論理・表現Ⅱ」を学んでおく必要があります。



## 8 家庭

家庭科では必履修科目の「家庭基礎」を2年次に全員が履修します。家庭科の学習を通して一人の生活者として自立するための知識や技術を学びます。

選択科目は、以下のように設定しています。興味関心や各自の進路に応じ、よく考えて選択してください。

2年次 「家庭基礎」…必履修

2年次 選択2B「フードデザイン」(4単位) ※ 3Fフードデザインを継続履修

選択2D「ファッション造形基礎」(3単位)

3年次 選択3E「保育基礎」(4単位)

選択3F「フードデザイン」(2単位)

選択3G「ファッション造形基礎」(2単位)

## 9 情報

1年次の「情報Ⅰ」(2単位)では、現在の高度情報化社会に必要な知識・技術を学びます。ネットワークやセキュリティ、プログラミング、データ活用などに加え、問題発見・問題解決学習や、情報モラルを学びます。

この授業を通じて身に付ける「情報活用能力」は、3年間のすべての授業で役に立ちます。

## 10 工業(デザイン)

物作りが好きな人や、中学の「技術」分野の加工に関する内容を、もっと学びたい人に向けた授業を行います。

造形に関する資格を取得したい人、製造業や職人的な業種を目指す人、空間・工芸・ファッションなどの専門学校を目指す人にも最適です。

1年次 デザイン製図(4単位)…「基礎製図検定」取得を目指す。

2年次 デザイン実践(3単位)…色彩に関する検定の受検に対応できる能力をつける。

3年次 コンピュータドラフティング(3単位)…パソコンで図面を作成する力をつける。

## 1.1 商業

商業科目は、将来の社会生活において役立つ専門科目です。簿記や情報処理や経済など多種多様な科目があります。商業科目を学習することで資格等が取得でき、大学・短大の推薦基準を満たすことができます。さらに、将来の職業選択・上級学校の入学に向けての基礎的学習として役立てることができます。

下の表は、商業の科目を、履修条件と検定目標により分類しました。科目の選択をする際の参考にしてください。

資格・検定	1年次	2年次	3年次
日商簿記1級 (商業簿記・ 会計学)	選択Ⅰ「簿記」	2A「財務会計Ⅰ」 2B「原価計算」 2C「総合実践(会計系)」	3C「管理会計」 3E「財務会計Ⅱ」 3B「財務会計Ⅱ応用」
日商簿記2級	選択Ⅰ「簿記」	2A「財務会計Ⅰ」 2B「原価計算」 2「総合実践(会計系)」	3E「財務会計Ⅱ」
		2A「簿記」	3C「原価計算」 3D「財務会計Ⅰ」 3E「総合実践(会計系)」
日商簿記3級	選択Ⅰ「簿記」	(2A「簿記」)	(3D「簿記」)
基本情報 ITパスポート	選択Ⅰ 「プログラミング」	2A「情報知識A」 2B「情報知識B」 2C「総合実践(情報系)」 2D「ソフトウェア活用」	3C「ネットワーク管理」 3E「システム管理と開発」
【2年次】 全商プログラ ミング1級 【3年次】 ITパスポート		2A「プログラミング」 2D「ソフトウェア活用」	3D「情報知識A」

※情報知識Aと情報知識Bを同一年度内で履修すると、基本情報科目A試験免除のための修了認定試験を受けることができます。

## 1.2 日本語

日本語を母語としない人を対象に、「日本語で学習する能力」を高めるための授業を行います。日本語能力試験のレベル認定を目指します。